

奥野小学校区タウンミーティング議事録

開催日：平成 30 年 7 月 24 日（火）10 時～

場 所：本庁舎第 3 会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び区側出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
 - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
 - ②風水害や土砂災害に備えて一自らの命、家族の命を守るために一
 - ③市民満足度調査結果
 - ④ブロック塀の安全点検

小坂団地：市民満足度調査結果について、牛久市の住み心地に 90%以上が満足ということ
で、良いことだと思っているが、回答は地区毎でどれくらいというのは分かるのか。

経営企画部長：報告書があり、地区毎にまとめてある。市内を 10 地区に分けており、どの
地区でどのくらい回答をいただいたか分かる。

小坂団地：奥野地区でどれくらいというのは分かるか。

経営企画部長：回答者数としては 61 名で、そのうち、「非常に満足」と回答いただいでい
るのが 2 名、「満足」が 17 名、「どちらかという満足」が 27 名であり、70%ぐら
いの方が「どちらかという満足」以上という回答になっている。

小坂団地：行政サービス面についてはどうか。

経営企画部長：一番多いのが「どちらかという満足」と答えてくれた方の 31 名で、5
0 パーセント以上である。「満足」と答えていただいた方が 11 名である。

小坂団地：できれば、牛久地区、岡田地区、奥野地区の 3 つのブロックに分けて満足度がど
のくらいの割合なのか教えて頂きたい。

経営企画部長：集計をして、後でご回答します。

小坂団地：団地は山を切り崩して住宅地にしているので、盛土というか石垣の様な壁があり、
高い所だと天井ぐらいの高さの石垣のようなものがあり、ひび割れだとか、空き地で草
が生い茂ったり、年数が経っているのもあり、一番上の大谷石が外れてしまっている
ということがある。全部が市役所ということはないと思うが、震度 5 ぐらいの地震があ
ると、かなり崩れるのがひどいかなと思う。市役所には危険箇所をお伝えして、補強を
していただいているのだが、この先壁が老朽化していくと、問題が多くなってくると思
う。市役所から持ち主に連絡をしていただきたい。

建設部長：団地内の宅地に使っている土留めの話だと思う。以前にも国道 408 号線の信号
から上がって左側にある宅地について、大谷石がひび割れて、ゆがんだりしている
の話があり、補強していただいた。団地には沢山の石積み大谷石積みのところがある。危険性が

ある場合には、地主に連絡をとって修繕をするように努めていきたいと思う。

4 行政区の意見等話し合い

小坂：市道56号線、以前からの継続ということで引き続きよろしく願いいたします。

小坂団地：ご回答いただいたことで、内容としてはこれをお願いしたい。回答の中の「牛久市空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」について内容を教えていただきたい。

環境経済部長：「牛久市空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」は、平成14年からあり、簡単に申し上げると、空き地の雑草について、空き地が危険状態にあるという場合には、助言、指導、勧告が市からできるというもの。それでも駄目なときには、改善命令を出すということもなかにうたっている。なんとかやっていただけるように整備した条例である。

奥原：過年度より、要望いたしております、信号機の設置要望である。この部分については市だけではなく、茨城県警等の関係機関との協議が必要と認識しておりますので、引き続き市としては県の方に要望をお願いしていただきたいと思う。

中央：中央行政区はリサイクルの問題があり、工場が3つあるのだが、全てが悪いという事ではなく、中には小学生を招いてリサイクル工場の中を見学させて、リサイクルがどのようなものかを教えている所もある。その中で1つが問題かなということで、意見を出させていただいた。今後も引き続き定期的なパトロールを行い、注視していくとのことです。今後ともお願いしたい。

大和田：チップパーやバロネスといっても分からない人がいるかもしれないので補足資料を配布させていただいた。今回この問題を要望している理由としては、自分が若い時に牛久帰って来て故郷をみると、非常に荒れていた。耕作放棄地は多いし、放置竹林もある。耕作放棄地は目立つが、放置竹林は目立たない。色々やっていく中で、このチップパーがあると、ボランティアにとって、非常に助かるという事が分かったので、提案させていただいた。原則、所有者がやるというのは分かるが、土地の所有者が分からないのも多くあるため、ボランティアがやらざるをえない。なんとかチップパーを買って、助けていただきたい。チップパーを使えば、孟宗竹だと上半分を全部切ることができ、真竹だと切って全部粉碎できるため非常に効率がよい。5月には「森林経営管理法」が成立し、放置竹林はいずれ自治体が管理していかなければならなくなる。そのためにはボランティアの力を有効に使っていただきたい。他の自治体では、静岡市では6台、大分市は3台、他のところも持っており、是非牛久でも保有して頂きたい。茨城県でも霞ヶ浦環境科学センターで1台借りられが、往復で2時間半かかるので、やはり牛久にあった

らよいと思う。価格が140万円するため個人では買えない。そのため、なるべく牛久でお願いしたい。国体もあるので、綺麗にして市外の方をお迎えしたいと思う。

環境経済部長：思いは我々も同じであり、お客様を迎えるのに綺麗なままでという思いは良く解る。ただ、牛久市は今大型のプロジェクトを行っており、予算を厳しくやっている。また、個人の所有地ということもある。無下にできない、ということではなく、その辺もふまえて検討させていただきたい。なお、牛久グリーンファームで竹林等の粉碎の受託事業も計画をしているので、それもうまく使っていただければと思う。

市長：機械の貸し出しについて、便利ではあるが、危険もあるというのも現実である。業者に聞くと扱いが難しく、また機械の故障もあり、損失もあるとのことである。怪我したときが一番心配である。機械としては高額であるが、対応できないものではないかもしれないが、我々も使ったことがないというのもあり、色々なことを整理していかないといけない。

大和田：牛久グリーンファームの件ですが、受託すると収入が上がるわけなので、なるべく早くやっていただきたい。危険の話だが、かすみがうら環境センターでは、使う人は講習を受けるとというのが条件となっている。奥野で一番ひどいのは奥野小学校の脇に竹山がある。これはボランティアじゃできないレベルになっている。土地所有者が静岡の方の人、子どもたちが卒業して帰ってきたことを考え、里山をきれいにしないといけないとおもっている。

市長：先ほど信号機の事でご質問いただきましたが、鎌倉街道からイーグルポイントの入り道、工業団地に入るところで交通量が多く、事故も多い。また、阿見との境で複雑なところである。ここを何とかできないかと阿見からも話がある。牛久市と阿見町とで協力して、この道路を改良すれば、警察からも道路を改良すれば信号を付けましようと言われている。他の自治体とも協力しながら、牛久だけでは解決できないものを皆で協力しながらいこうと進めている。

久野：今回のタウンミーティングでは要望は出していないが、平成28年度に出した要望について、市道55号線の現在の進捗状況についてご説明していただきたい。

建設部長：市道55号線の進捗状況について、昨年度は、地権者にご協力いただいて、一部土地を取得している。今年度も土地、立ち木関係の補償を進めていきたいと考えている。一部、東側から土地が連続的に取得できれば、一部工事に入っていきたいと考えている。土地を取得しながら、一部工事の方もはいつて進めていきたいというのが今の考え。数年という期間がかかると考えている。完成までは少し時間がかかると思うが、今後土地の取得のため、地元の方にご協力いただきたい。

報徳：行政区内にある市道の中で、一番交通量のある市道1756号の道路整備について要

望をさせていただいた。それについて、市に現地を見ていただき、その上で現在はもうすでに路肩破損している部分について補修して頂いており、ありがとうございます。本来は、側溝工事もできればと思ったのですが、排水先がないということで、今のできる範囲で早速工事をしていただき、ありがとうございます。上水道の整備については、簡単ではなく、長年かかる事かと思いますが、2年前に地元の井戸水の水質検査をしたところ、飲み水として不適格という結果がでた。今現在は飲み水に関しては、それぞれに対応をしているが、できれば上水道を長年かかっても、市から県南水道に働きかけを行っていただきたい。

島田：2点ほど要望したところ、地権者の同意が取れ次第とのことでの回答でしたので、よろしくお願ひしたい。

408号線を毎日通っているが、路肩の雑木がどんどん大きくなってひどい状態になっている。最後には大きな木になってしまうのではないかと思っている。なんとかしていただけないかなと思う。

建設部長：国道408号線の路肩にある雑木の伐採という事かと思いますが。縦割りと言われてしまうかもしれないが、国道408号線については、竜ヶ崎にある工事事務所が維持管理をしているところである。龍ヶ崎工事事務所に要望を出させていただきたいと思う。

正直：前回要望したセキュリティライブカメラの設置についても、竜ヶ崎工事事務所長あて要望を提出しているとのことなので、このまま継続でお願いしたい。

井ノ岡：うちの方から要望を出し、現地を確認したあとに、これは対応できるのか、検討するのか、どのように対応するのかの回答をご連絡いただければ幸いである。

桂：奥原工業団地と桂工業団地の真ん中に位置する、桂の集落の上部分、山林部に、バイオマスという話の中で、ヤシの実を輸入して、そのヤシの実から油をとって、油で発電をして、電気をつくり、売電するといった話がきている。施設だけの面積で8万4千㎡、これは開発行為になると思うが、進入道路を桂工業団地の中から作るという内容である。地主そのものは調べていないが、大枠は地区外の方が所有しているものだと思っている。10mも離れないところに集落があるので、色々な面でも影響があるのではないかと思う。奥野地区となると土地利用が全くない。土地を貸してくれ、売ってくれという話が来ると、地主としては大喜びとなる。大きく面積を持っている地主さんは土地活用を何とかしたいと思っており、そのような人たちが開発行為をおこして進めている。地主のところには、12mの進入路の拡幅部分だけ協力して欲しいと話がきている。回答にあるように、市として把握はしていないと思いますが、桂だけでなく奥野地区その

ものにそのような動きがあった場合には、各行政区の区長等に、事前に連絡をくれるなどの対応をお願いしたい。

また、奥野地区で土地の利用が無いということで、市の方でも奥野地区の土地利用の計画をお願いしたい。阿見ではインター周辺に県の区画整理や工業団地など、インターを利用しての事業がある。そのような内容を牛久市としても県と協議をしながら進める方向を考えていただきたい。奥野地区を何らかの方向性を見出していきたい。

桂：我々が一番気がかりなのは、開発により奥野地区の環境に影響が出ることである。色々な面で法の規制があると思うが、開発と並行して非常にシビアに市の方にも対応いただきたいと思っている。

市長：私もインター周辺の開発は非常にもったいないと思っている。全て阿見の方に向って行ってしまっている。あのインター近くは、あと数年で交通量も多くなり、土地の有効活用は、地域の発展に寄与すると思う。桂工業団地の誘致には、環境破壊にならないことや、地元の合意を得るということが必要となる。市としても積極的に土地活用をしてくが、そのためには地元の合意を必要となるので、地域の皆さんのご意見を伺いながら行っていきたい。再来年に特別養護老人ホームが二中の先にできることが決まった。これからも地域にあった、どのような開発がいいのか、検討してまいりますのでよろしくお願い致します。

桂：地元としては、市とか県が絡んでの公共的な事業の方が、民間よりも望ましい。特別養護老人ホームの話がありましたが、市が絡んでの事業が奥野地区に増えるのが一番良いのかなと思います。

向原：市の方に2点要望したい。まず第1に、牛久市道7号線沿いの交差点の近くにある00477という番号の防犯灯の柱についている明かりについて、明かりがついていない状態のため、処理してもらいたい。もう一点は、市道7号線沿いの向原区民会館の桜の木を切っていただいたが、半分はふれあい美化で花を植えているのだが、もう半分は野放し状態になっている。牛久の土地なので草刈りをして綺麗にしていきたい。車道と歩道の間であり、小中学生も通り事故の可能性もあるので、除草作業をお願いしたい。

市民部長：外灯については、確認をして修繕するようにする。

建設部長：市道7号線の自治会館前の植樹帯について、草が繁茂しているとの情報をいただきましたので、現地を確認して対応していきたい。

11時40分閉会